

小学生

中学生

高校生

高専生

対象

プロ検

プログラミング能力検定



毎月検定実施中!

最新の検定日程はこちら



プロ検とは?

What is "PROKEN"?

プロ検はプログラミングの基礎となる知識を測るための試験です。

プログラミングの概念の理解度を体系的に分析・評価することで受験者のプログラミング能力を詳細に測り、学習成果を証明すると共にその後の効果的な学習に繋げることができます。

プロ検を受験するメリット

メリット 1

詳細な成績表で 課題が見えやすい

合格・不合格を伝えるだけでなく、**プログラミングの基礎知識を細かく分解して評価する成績表**だから、今できていることと今後の課題が見えやすい!

メリット 2

大学入試に役立つ!

2022年度から高校でプログラミングが必修化となり、2024年度の大学入試には「プログラミング」が導入予定。本検定では**大学入試の出題範囲をカバー**しています。

メリット 3

レベル・言語別 だから受験しやすい

プログラミングの概念を学びやすい1~6段階のレベル別設計なので、どなたでもチャレンジ可能!
自分のペースで上を目指そう!

どんな
問題?

プロ検は「**ビジュアルプログラミング言語**」と「**テキストプログラミング言語**」のいずれでもご受験いただけます

【ビジュアル言語版】

オリジナルのビジュアルプログラミング言語による出題です。Scratchやロボットプログラミング等幅広い学習者にオススメです。



【テキスト言語版】

JavaScriptまたはPythonでの受験が可能です。普段学習されている言語に近い言語でご受験ください。





プログラミング概念を詳細かつ体系的に分析・評価する「**成績表**」を受験者全員に発行します。合格者には各レベルの実力を証明する「**合格証書**」も発行！

【成績表】

合格・不合格を伝えるだけでなく、概念毎にプログラミングの基礎知識を細かく分解して評価する成績表を発行しますので、今できていることと今後の課題が見えやすく、その後の学習に活かすことができます。

プロ検		成績表	
氏名	検定 太郎	学年	小学3年生
会場名	プロ検 池袋校	実施日	2021/9/11

受験レベル	合格	正答数	15 / 20問
レベル1	合格	正答率	75.0%
		受験者全体の正答率	76.1%

概念分類	説明	正答率
制御	条件などによってプログラムをコントロールするための概念をまとめたものです。繰り返し、条件分岐、繰返実行などの概念を統括しています。	全体の 84.6%
数値的処理	算数や数学で学ぶ概念をまとめたものです。整数、小数、四則、乗除、不等号などの概念を統括しています。	全体の 78.6%
配列	文字列、文字列配列、配列、文字列の概念を統括しています。	全体の 95.1%

概念分類	結果	学習アドバイス
順次実行	○	-
同時実行	△	「同時実行」のブロックを学ぶプログラムを併せて練習することをおすすめします。
ブレイク	○	-
ジャンプ	○	-
変数	○	-
初期化	△	「変数宣言」のブロックを併せて練習することをおすすめします。
比較演算	○	-
論理演算	△	「論理演算」のブロックを併せて練習することをおすすめします。
文字列	○	-
配列	○	-
オブジェクト	○	-

【合格証書】 ※電子データでのお渡しになります

検定の合格者に発行される「合格証書」はプログラミングスキルの証明としてご利用いただけます。



プログラミングの学習・教授・評価のための共通参照枠
Common Framework of Reference for Programming Skills (CFRP)

CFRPの
詳細はこちら



段階	レベル	レベル毎に「何ができるか」を示した習熟度一覧
実用性の高いプログラムを作成可能	6	プログラムで複数の処理を同時に行うことができることを理解している。オブジェクト指向の基本的な概念を理解し、他の人が利用しやすいプログラムを作ることができる。
	5	例外処理を理解し、より安定したプログラムを作ることができる。データ型の比較、多次元配列、ソートの理解により、複雑なデータ処理を行うことができる。
複雑な処理のプログラムを作成可能	4	定数の概念を理解し、使用することができる。繰り返しや分岐を様々な条件でコントロールする方法や配列要素の追加・削除・検索などの操作を理解し、複雑な処理のプログラムを自由に作ることができる。
	3	変数の型について理解し、多様なデータをプログラムで扱うことができる。乱数の概念を理解し、使用することができる。関数の基本的な概念を理解し、効率的に可読性の高いプログラムを作ることができる。
簡単な処理のプログラムを作成可能	2	文字列の操作をすることができる。論理演算により複雑な条件を作成することができる。配列の基本的な概念を理解し、使用することができる。特定の条件下で処理を繰り返すことができ、簡単な処理のプログラムであれば自由に作ることができる。
	1	簡単な演算、データの表示の方法を理解している。変数の基本概念を理解し、使用することができる。データの大小や一致/不一致の条件で処理を分岐させるプログラムを作ることができる。

